

## 安全データシート (SDS)

## 1. 化学品及び会社情報

製品の名称 : リフレパウダー  
会社名 : 株式会社リバーズジャパン  
住所 : 956-0816 新潟県新潟市秋葉区新津東町1丁目1628-1  
電話番号 : 0250-47-6071  
FAX 番号 : 0250-24-0181

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

物理化学的危険性			
爆発物	分類できない	可燃性/引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外	支燃性/酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外	引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない	自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類対象外	自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない	水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類対象外	酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性			
急性毒性 (経口)	分類できない	皮膚感作性	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない	生殖細胞変異原性	分類できない
急性毒性 (吸入: ガス)	分類対象外	発がん性	分類できない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない	生殖毒性	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	区分 4	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性麻酔作用)
皮膚腐食性/刺激性	区分外	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1	吸引性呼吸器有害性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない		
環境に対する有害性			
水生環境有害性 (急性)	分類できない	水生環境有害性 (長期間)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない		

## GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 警告、危険

危険有害性情報

H318 重篤な眼の損傷

- H332 吸入すると有害  
 H335 呼吸器への刺激のおそれ  
 H336 眠気またはめまいのおそれ

## 注意書き

## 安全対策

- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレートの吸入を避けること。  
 P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 応急措置

- P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 P304+P312 吸入した場合：気分が悪いときは、医師に連絡すること。  
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 P305+P310 眼に入った場合：ただちに医師に連絡すること。

## 貯蔵

- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 P405 施錠して保管すること。

## 廃棄

- P501 内容物/容器を都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

一般名：粉末石けん

成分	含有量
脂肪酸ナトリウム	60%
炭酸塩	40%

化審法官報整理番号：(1)-164（炭酸塩）

## 4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師の診察を受けること。  
 皮膚に付着した場合：水またはぬるま湯で十分に洗い流す。もし異常があれば医師の診察を受けること。  
 眼に入った場合：絶対に目をこすらずに 15 分以上流水で目を洗い、医師の診察を受けること（コンタクトレンズを装着している場合は、速やかにはずしてから、同様の処置を行う）。  
 飲み込んだ場合：水で口の中をよく洗浄する。気分が悪いときは医師の診察を受けること。

---

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水、二酸化炭素、粉末消火剤、土
使ってはならない消火剤	: 情報なし
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は可能な限り風上より行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	: 適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置を参照）を着用する。
環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 掃除機、ほうき等を使用して回収する。
二次災害の防止策	: 情報なし

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 : 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
安全取扱注意事項	: 換気の良い場所で取り扱うこと。 : 飲まないこと。
接触回避	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	: 取扱い後は手をよく洗うこと。

### 保管

技術的対策	: 特別に技術的対策は必要としない。
混触危険物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
安全な保管条件	: 子供の手の届くところには保管しない。 : 水濡れのおそれがある場所で保管しない。 : 直射日光を避け、通風の良い室内で保管する。 : 容器内に過度の湿気が発生しないように注意する。
安全な容器包装材料	: 破損、漏れのない密閉可能な容器を使用する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	: 設定されていない
設備対策	: 換気、通風をしながら使用する。 : 本製品を取り扱う場所には洗眼及び身体洗浄ができる設備を設置したほうがよい。

---

---

**保護具**

呼吸用保護具	: 必要に応じて保護マスクを着用すること。
手の保護具	: 必要に応じて保護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 必要に応じて保護眼鏡（普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 必要に応じて保護衣を着用すること。
衛生対策	: 取扱い後はよく手を洗うこと。

---

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態	: 粉末
色	: 白色
臭い	: わずかな石けん臭
融点/凝固点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 情報なし
可燃性	: 情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	: 情報なし
引火点	: 情報なし
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 10.2 (0.025%水溶液)
動粘性率	: 情報なし
溶解度	: 水に可溶
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び/又は相対密度	: 情報なし
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 該当しない
その他のデータ	: 情報なし

---

**10. 安定性及び反応性**

反応性	: 通常の条件下では安定
化学的安定性	: 通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	: 酸と反応する。
避けるべき条件	: 水濡れ、高温、多湿
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

---

---

### 1 1. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 分類できない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入）	: 区分 4（炭酸塩）
皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 1（炭酸塩）
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 区分 3（炭酸塩）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

---

### 1 2. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性（急性）	: 分類できない
水生環境有害性（長期間）	: 分類できない
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 分類できない

---

### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 : 焼却する場合は関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けている産業廃棄物処理業者に内容物を明確にした上で適切に処分を委託すること。
汚染容器及び包装	: 関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

### 1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 水漏れ対策を施し、多湿にならないように輸送する。 : 容器の破損、漏れのないことを確かめ、転倒落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。

---

#### 国内規制

陸上規制情報	: 該当しない
海上規制情報	: 該当しない
航空規制情報	: 該当しない

---

#### 15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 該当しない
消防法	: 該当しない

---

#### 16. その他の情報

##### 参考文献・引用文献

- ・ 化審法化学物質改訂第5版. 化学工業日報社, 2002
- ・ 製品安全データシートの作成指針. 日本化学工業協会, 2001
- ・ 吉川治彦. Q&A で解決 化学品の GHS 対応 SDS をつくる本. 丸善出版, 2019
- ・ 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度. 厚生労働省, 平成 30 年 12 月
- ・ “GHS 分類結果データベース”. 独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE).
- ・ “国連 GHS 文書”. 経済産業省.
- ・ “GHS 対応モデルラベル・モデル SDS 情報”. 厚生労働省 職場のあんぜんサイト.

##### 記載内容に関する問い合わせ先

会社名	: 株式会社リバーズジャパン
電話番号	: 0250-47-6071
FAX 番号	: 0250-24-0181

##### 作成年月日及び改訂情報

作成日	: 2010 年 10 月 20 日
改訂日	: 2019 年 11 月 6 日

---

- ・ 記載内容については、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上でご利用ください。
- ・ 全ての化学用品は未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は、起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありませんので、取扱いには注意してください。

以上